

第1回 PNK 秋のウォーキング



(写真はクリックで拡大) (写真撮影：大野義輝)

日時 2021年10月6日(水曜日)
コース 狭山丘陵～荒幡富士(狭山)
参加者 8名(女性3名 男性5名)

秩父の山登りに西武線をよく利用したが、東村山駅には始めて降りた。ここは東京都だ。商店街や民家のある道を右に左に曲がりながら進むが、どうしても方向感覚がつかめない。「一人じゃとても無理」などと話しているうちに大善院に到着。



境内に入ると、本堂の左右にそれぞれ5メートル以上も



ある築山には不動明王や童子の像がびっしりだ。またこの寺だけで七福神めぐりもできるし、水子地藏堂まである。なんと賑やかというか商売上手なお寺さんだ。

水分補給して、すぐ近くの正福寺へ。ここの地藏堂は室町時代の建造物、こけら葺きの屋根の両端がそり上がった形が力強い。都の国宝らしいが、周囲がなんとも無防備な感じで、火災やいたずらなどが心配だ。



民家の庭の花など眺めながら進むと北山公園に出た。東西1キロ南北200メートルもあろうか、ほと



んどが菖蒲園だ。6月に来れば一面に花菖蒲が見られよう。あずまやでゆっくり休憩。

本日のメインとなる八国山緑地が公園の北側に広がっている。狭山丘陵の東の端に位置する里山だ。2キロはありそうだ。ここを往復する。

公園と緑地を分けるように黄色い4両編成の電車が西に向かって走っている。西武園行きだ。散歩中の園児たちに声をかけながら、西の登り口に向かってのんびりと歩く。

北山小学校の先の踏切のところで、さっきの黄色い電車が戻ってきた。一斉に撮り鉄開始。踏切をわたり広場に出る。ドングリを拾いながら尾根道に出た。踏み固められた土の道を一步一步かみしめ乍ら東に向かって歩く。

適度に手入れされた雑木林、コナラがメインだ。時に赤松も見かけた。全体に緑が濃く、森林浴には最適な場所だ。東端の將軍塚までなんとか歩けた。



周囲を見渡し、往事の新田義貞の心境になって鎌倉攻めを構想。少し戻って、おおぞら広場で昼食。右足首に鎮痛剤をたっぷり塗る。



観ながら、あっという間に山頂だ。

西武園遊園地がよく見渡せる。展望塔がゆっくりと降りていく。入間基地からだろうか、戦闘機や輸送機らしいのが上空を掠めていく。

ストックを使い、来た道に戻る。西の広場にて小休止。西武園ゴルフ場と住宅街の間を北に向かって歩く。ここから埼玉県だ。ゴルフ場の脇の坂道を20分も歩いたのだろうか。

荒幡富士に着いた。高さ20メートルくらいだろうか。人工の富士山だ。鳥居をくぐり、登りはじめる。足元の吾亦紅やホトトギスを



誰かが山の全景をスマホで撮ると「荒幡富士」とデータが出た。我も我もとスマホの勉強会が始まった。さすがPCの会員たちである。適度に負荷のかかるウォーキングコースだった。

最後に私事、年初より腰痛が再発、右足首の痺れが加わった。リハビリを続け、ようやく30分くらい歩けるようになった。

今回思い切って参加。途中でストックを使用したけど、何とか3時間歩き通せた。要介護者の仲間入りをしなくてすみそうだ。

(記事作成 鈴木康礼 編集 水鳥武彦)